

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	花とみどりの推進団体育成事業		
事業担当	都市整備部 みどり公園・水辺課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'01	①〈自然との共生〉四季を通じて豊かな恵みを与えてくれる自然と親しむ	
	'01	1 自然を守るしくみづくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、公園愛護会会員	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
緑化モデル団体や公園愛護会が、育成されています。		地域緑化の推進及び緑化意識高揚のため、モデル団体や公園愛護会を育成・支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	愛護会ニュース発行等				単位	回
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	2	2	2	2		
	実績	1	1	2			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	公園愛護会登録団体数				単位	団体
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	144	147	149	150		
	実績	148	149	149			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
<p>年1回の公園愛護会連絡協議会総会開催、役員会4回開催、市外視察研修会開催(厚木市ぼうさいの丘公園 県立茅ヶ崎里山公園 参加者89名)、役員による市内公園視察研修会開催(市内公園7箇所 参加者7名)、公園愛護活動推進補助物品支給事業(各愛護会にごみ袋の配布)の実施、愛護会ニュース(2回)の発行。前述の活動を通じ、公園愛護活動の推進を行なうとともに、公園愛護会が育成され、公園愛護会への新規登録が3団体ありました。</p>							
平成24年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	公園清掃等を行うことにより、環境美化への意識向上、会員相互のコミュニケーションの手段、情報交換の場等、まちづくり・ひとづくりの一端を担う事業であることから、必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	定期的に公園清掃を行うことにより、市民が公園を快適に利用できることから、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域の公園は地域の手で守り育てることを通じて、公園への愛着も生まれ、公園愛護精神の普及に貢献し、地域環境保全にも繋がる活動となります。	○ 高 ● 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	公園が増加する中、維持管理経費の財源確保が困難な現状において、全ての公園に愛護会が結成され公園清掃等を行うことにより、経費節減へとつながります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		愛護会会員の高齢化による活動時の人員確保や、活動の継続性が大きな課題となっており、平成24年度は3団体が解散となりました。また、活動回数や参加人数について、愛護会ごとに相違があること等も課題としてあげられます。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		交付金の支出や草花の提供	交付金の支出や草花の提供	交付金の支出や草花の提供	交付金の支出や草花の提供
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	90	60	30	29
	一般財源	5,763	5,768	5,821	5,788
事業費 (A)		5,853	5,828	5,851	5,817
執行率 (%)		97.03	95.28	95.50	
内訳	職員 (人)	0.76	0.62	0.49	0.50
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		6,277	5,025	3,928	3,974
フルコスト (A+B)		12,130	10,853	9,779	9,791

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	公園愛護会連絡協議会と連携し、未設立の公園へ愛護会の新規設立を働きかけるとともに、愛護会活動充実のため、交付金の運用見直しに向けた、検討・協議を行います。
課長コメント	美化推進及び安心・安全に利用できる公園づくりを市民と協働で行うため、市内全公園の愛護会結成に向け働きかけていきます。